

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ 世界中小型株ファンド」は、日本、北米、欧州の世界各国の成長性が高いと見込まれる、または相対的に割安と考えられる中小型の株式を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行いました。約款の規定に基づき2016年6月14日に満期償還となりました。ここに謹んで運用の経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも弊社の投資信託に一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



インベスコ 世界中小型株ファンド

追加型投信／内外／株式



Japan

North America

Europe

第10期末 (2016年6月14日)

| | |
|--------------|------------|
| 償還価額 (税込み) | 13,745円90銭 |
| 純資産総額 | 993百万円 |
| 第10期 | |
| 騰落率 | △6.2% |
| 分配金 (税込み) 合計 | 一円 |

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書 (全体版) に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書 (全体版) は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書 (全体版) の閲覧・ダウンロード方法>
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンド一覧」等から運用報告書 (全体版) を閲覧およびダウンロードすることができます。

交付運用報告書

第10期 (満期償還)

(信託終了日 2016年6月14日)

作成対象期間 (2015年6月16日～2016年6月14日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル: (03)6447-3100

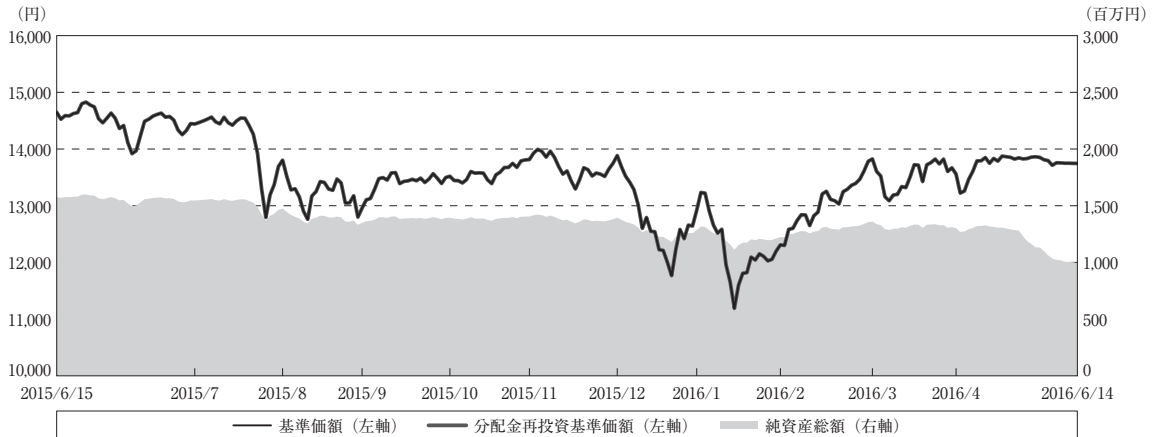
(受付時間: 毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <http://www.invesco.com.jp/>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2015年6月16日～2016年6月14日)



期 首：14,648円

期末 (償還日)：13,745円90銭 (既払分配金 (税込み)：一円)

騰 落 率： △6.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首 (2015年6月15日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

日本、北米、欧州の世界各国の成長性が高いと見込まれる、または相対的に割安と考えられる中小型の株式に投資を行う3つのマザーファンドに投資を行いました。

日本マザーは上昇したものの、その他のマザーファンドの基準価額が下落したことが基準価額の下落要因となりました。

| マザーファンド | | | 当期中の騰落率 |
|---------|-------|----------------|---------|
| 日本マザー | インベスコ | 日本中小型株 マザーファンド | +12.0% |
| 北米マザー | インベスコ | 北米中小型株 マザーファンド | △22.9% |
| 欧州マザー | インベスコ | 欧州中小型株 マザーファンド | △18.2% |

1万口当たりの費用明細

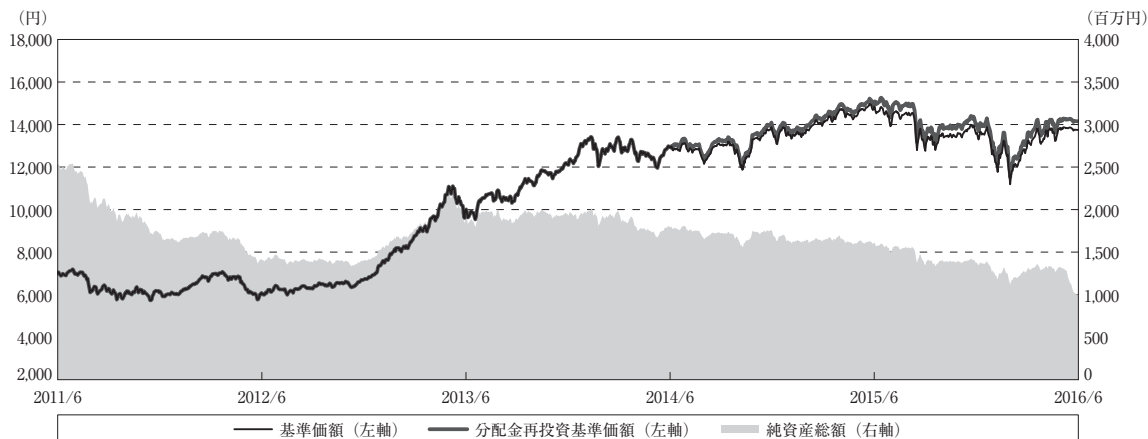
(2015年6月16日～2016年6月14日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|----------|------------|---------------------------------------------------|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 円 264 | % 1.939 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| （ 投 信 会 社 ） | (126) | (0.929) | ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 |
| （ 販 売 会 社 ） | (126) | (0.926) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 |
| （ 受 託 会 社 ） | (12) | (0.086) | ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 | 39 | 0.289 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 |
| （ 株 式 ） | (39) | (0.288) | ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （ 投 資 信 託 証 券 ） | (0) | (0.001) | |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税 | 2 | 0.012 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 |
| （ 株 式 ） | (2) | (0.012) | ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| （ 投 資 信 託 証 券 ） | (0) | (0.000) | |
| (d) そ の 他 費 用 | 54 | 0.399 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （ 保 管 費 用 ） | (40) | (0.294) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （ 監 査 費 用 ） | (3) | (0.021) | 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （ 印 刷 費 用 ） | (11) | (0.084) | 印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等 |
| （ そ の 他 ） | (0) | (0.000) | その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等 |
| 合 計 | 359 | 2.639 | |
| 期中の平均基準価額は、13,613円です。 | | | |

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2011年6月14日～2016年6月14日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2011年6月14日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

| | 2011年6月14日 決算日 | 2012年6月14日 決算日 | 2013年6月14日 決算日 | 2014年6月16日 決算日 | 2015年6月15日 決算日 | 2016年6月14日 償還日 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円) | 7,008 | 5,989 | 9,657 | 12,806 | 14,648 | 13,745.90 |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | — | 0 | 0 | 200 | 200 | — |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | △ 14.5 | 61.2 | 34.7 | 15.9 | △ 6.2 |
| 参考指数騰落率 (%) | — | △ 10.0 | 69.3 | 27.3 | 19.0 | △ 14.5 |
| 純資産総額 (百万円) | 2,527 | 1,395 | 1,841 | 1,772 | 1,578 | 993 |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 参考指数の詳細は9ページをご参照ください。
- (注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しているものです。

投資環境

(2015年6月16日～2016年6月14日)

| | | | |
|----------------------------|--------|----------------------------|--------|
| JASDAQ INDEX (日本) | △8.4% | ラッセル2000指数 (米国) | △9.0% |
| DAX指数 (ドイツ) | △13.3% | CAC40指数 (フランス) | △14.2% |
| FTSE100指数 (イギリス) | △11.7% | | |
| 米ドル/円 106円08銭 (前期末123円50銭) | | ユーロ/円 119円81銭 (前期末138円60銭) | |

※株価指数の騰落率は当期末時点 (対前期末比)、米ドル/円およびユーロ/円は当期末の数値です。

■日本

日本の株式市場は期初よりもみ合いの動きとなりました。しかし、2015年8月になって中国の実体経済の悪化が鮮明になると世界的に株式市場は調整色を強め、日本の株式市場も急落しました。9月以降、株式市場は持ち直しましたが、12月になって原油価格の急落などを背景に株式市場は再度下落しました。米国の9年半ぶりの利上げや日本銀行の新たな金融緩和政策が発表されましたが大きな材料にはならず、円高が進む中で2016年度の業績予想で減益の会社も多くなったことから反発力にも欠け、調整局面の中で期末を迎えました。

日本マザーの参考指数であるJASDAQ INDEXは△8.4%、TOPIX (東証株価指数)は△23.0%となり、中小型株式のパフォーマンスが大型株式を上回りました。

■北米

北米の株式市場は、期初から2015年8月中旬頃までは、おおむね緩やかに上昇する展開となりました。しかし8月下旬の中国株式市場の大幅な下落に端を発した世界的な株価下落によって、米国市場も急落しました。その後は株価が値を戻す局面もありましたが、原油価格の大幅な下落や世界景気の見通しの悪化などを受け2016年2月中旬ごろまで下落する展開となりました。2月中旬以降は米連邦準備理事会 (FRB) の利上げへの慎重な姿勢が好感されたことなどから、株式市場は上昇基調での推移となりました。北米マザーの参考指数であるラッセル2000指数は△9.0%、S & P 500種指数が△0.4%となり、中小型株式のパフォーマンスが大型株式を下回りました。

■欧州

欧州の株式市場は、ギリシャ債務問題や不安定なユーロ相場などを受けた市場心理の悪化を背景に、期初から下落基調となりました。さらに2015年8月下旬になると、中国株式市場の大幅な下落に端を発した世界的な株価下落により欧州市場も急落しました。10月に入り株価は持ち直したものの、12月に欧州中央銀行 (ECB) が発表した追加の金融緩和政策が市場予想を下回る内容だったことを受けた市場心理の悪化などを背景に、再度下落しました。2016年2月中旬以降はECBが3月に追加金融緩和を実施するとの期待感の高まりなどが好感され、株式市場は上昇に転じました。欧州主要国の株価指数は、DAX指数 (ドイツ)が△13.3%、CAC40指数 (フランス)が△14.2%、FTSE100指数 (イギリス)が△11.7%となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2015年6月16日～2016年6月14日)

主として、日本、北米、欧州の世界各国の成長性が高いと見込まれる、または相対的に割安と考えられる中小型の株式に投資を行う3つのマザーファンドに投資を行いました。各マザーファンドへの投資配分比率は、それぞれ日本50%、北米25%、欧州25%を基本とし、投資配分比率に一定の変動幅を設け、市場環境などにより、機動的に投資配分比率を変更しました。また、実質外貨建資産への投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行いませんでした。

期初より投資家のリスク許容度が改善する中で、各地域の景況感の順調な回復を想定し、各マザーファンドの組入比率を基本投資配分に準じた運用を行いました。

2016年6月14日の償還日が近づくとつれ、徐々にポートフォリオの現金化を図り、安定運用に移行しました。

各マザーファンドの運用状況は次の通りです。

| マザーファンド | 運用状況 |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日本マザー | 長期的な成長が見込まれる分野に焦点をあて、今後、着実な利益獲得と急速な成長が見込まれるわが国の中小型の銘柄によりポートフォリオを構築しました。 |
| 北米マザー | 企業の収益見通し、キャッシュフロー、ファンダメンタルズなどを総合的に勘案し、持続的な成長が長期的に可能と判断され、相対的に割安と考えられる北米の中小型の銘柄によりポートフォリオを構築しました。 |
| 欧州マザー | 企業の成長性、競争優位性、バリュエーション（投資価値）などを総合的に勘案して選定した欧州の中小型の銘柄によりポートフォリオを構築しました。 |

当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年6月16日～2016年6月14日)

当期の基準価額騰落率は△6.2%となり、参考指数である合成指数（JASDAQ INDEX 50%、ラッセル2000指数（円換算ベース）25%、ユーロマネー・スモール・ヨーロピアン・カンパニーズ・インデックス（円換算ベース）25%）の騰落率△14.5%を上回る結果となりました。

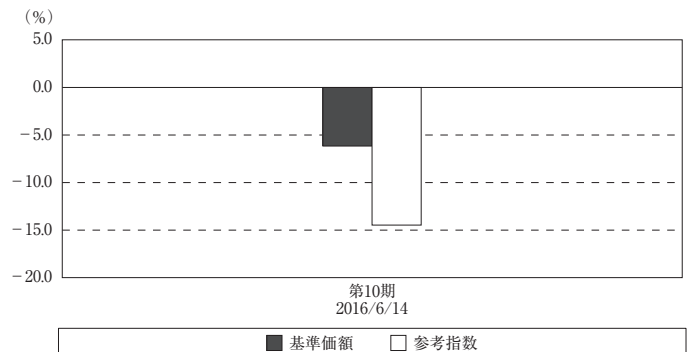
[プラス要因]

- ・日本マザーが参考指数を上回るパフォーマンスとなったことがプラスに寄与しました。
- ・資産配分効果では、日本株式市場の上昇時に日本マザーの組み入れが参考指数以上であったことがプラス要因となりました。

[マイナス要因]

- ・北米マザーが参考指数を下回るパフォーマンスとなったことがマイナスに影響しました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 参考指数の詳細は9ページをご参照ください。

ごあいさつ

当ファンドは2016年6月14日をもって満期償還を迎えました。

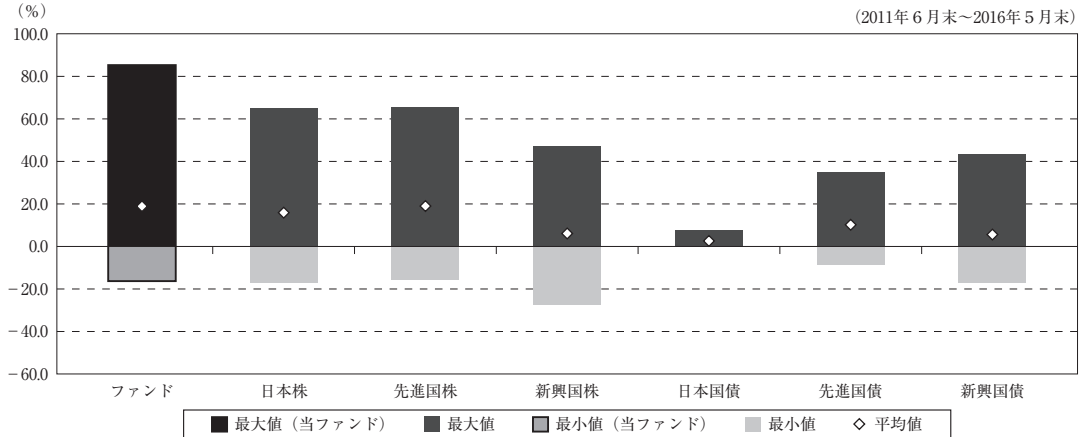
これまでの受益者のみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚く御礼申し上げますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

当ファンドの概要

| | | |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 | |
| 信託期間 | 2016年6月14日まで | |
| 運用方針 | <ul style="list-style-type: none"> ・「インベスコ 日本中小型株 マザーファンド」、「インベスコ 北米中小型株 マザーファンド」および「インベスコ 欧州中小型株 マザーファンド」の各受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。 ・実質外貨建資産への投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行いません。 | |
| 主要投資対象 | インベスコ 世界中小型株ファンド | 「インベスコ 日本中小型株 マザーファンド」「インベスコ 北米中小型株 マザーファンド」「インベスコ 欧州中小型株 マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。 |
| | インベスコ 日本中小型株 マザーファンド | わが国の株式を主要投資対象とします。 |
| | インベスコ 北米中小型株 マザーファンド | 北米の株式を主要投資対象とします。 |
| | インベスコ 欧州中小型株 マザーファンド | 欧州の株式を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・主として、マザーファンドの各受益証券への投資を通じて、日本、北米、欧州の世界各国の成長性が高いと見込まれる、または相対的に割安と考えられる中小型の株式に投資を行います。 ・各マザーファンドへの投資配分比率は、それぞれ日本50%、北米25%、欧州25%を基本としますが、投資配分比率に一定の変動幅を設け、市場環境などにより、機動的に投資配分比率を変更します。 | |
| 分配方針 | 年1回の毎決算時（原則として6月14日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。 | |

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

| | ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|
| 平均値 | 18.9 | 15.9 | 19.0 | 6.1 | 2.6 | 10.2 | 5.6 |
| 最大値 | 85.3 | 65.0 | 65.7 | 47.4 | 7.7 | 34.9 | 43.7 |
| 最小値 | -16.3 | -17.0 | -15.6 | -27.4 | 0.4 | -8.6 | -17.4 |

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2011年6月から2016年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株: TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債: NOMURA - BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P9の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2016年6月14日現在)

2016年6月14日現在、有価証券等の組み入れはございません。

※組み入れているマザーファンドの直近の計算期間の内容につきましては、償還 運用報告書（全体版）に記載しております。

純資産等

| 項 目 | 第10期末（償還日） |
|------------|--------------|
| | 2016年6月14日 |
| 純資産総額 | 993,185,355円 |
| 受益権総口数 | 722,532,293口 |
| 1万口当たり償還価額 | 13,745円90銭 |

* 期中における追加設定元本額は3,319,177円、同解約元本額は358,582,185円です。

＜当ファンドの参考指数について＞

当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数として各マザーファンドの参考指数の騰落率を合成（JASDAQ INDEX（ジャスダック・インデックス）50%、ラッセル2000指数（円換算ベース）25%、ユーロマネー・スモラー・ヨーロッパ・カンパニーズ・インデックス（円換算ベース）25%）した指数を掲載しています。当該参考指数は、設定日の前営業日（2006年6月14日）を10,000として、当社で独自に指数化したものです。なお、ユーロマネー・スモラー・ヨーロッパ・カンパニーズ・インデックスは、H S B Cスモラー・ヨーロッパ・カンパニーズ・インデックスが名称を変更したものです。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

○TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

○MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

○NOMURA - BPI国債

NOMURA - BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数で、著作権、商標権、知的財産権、その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.